



2016年度プレゼンテーション選考会
(入賞6団体を表彰し、記念撮影)



2016年度支援先「サステナビリティ・エンパワーメント」
(支援先が運営する民間学童施設を訪問)



2016年度プロボノ活動キックオフ会
(支援先と当社メンバーの初顔合わせ)



2016年度支援先「スマイルスタイル」
(支援先のオフィスに向き、経営課題に関して議論)



2016年度支援先「人と動物の共生センター」
(社会課題の現場を支援先と共に訪問し、ヒアリングを実施)

Social Business Support Programme

ソーシャルビジネス支援プログラム

シンクタンクとの協働で、
社会課題解決のスピードUPとインパクト拡大を

「ソーシャルビジネス支援プログラム」は、社会課題の解決を目指すソーシャルビジネス事業者の皆さまを、「シンクタンクとして培ったスキルの提供」と「資金支援」によって支援する取り組みです。当社の役職員有志が「プロボノチーム」を組んで伴走者となり、共感をベースに選んだ団体と約半年間にわたり協働します。このプログラムは、「総合シンクタンクならではの社会貢献活動」との思いから2013年に創設したもので、これまでに24の入賞団体に資金支援を行い、うち12の団体と協働しています。社会課題の解決に取り組むソーシャルビジネス事業者の皆さま。シンクタンクとの協働で、社会課題解決のスピードUPとインパクト拡大を目指しませんか？

2017年度
支援先募集!
4/24(月) 正午
〆切

ソーシャルビジネス支援プログラム プログラム概要

● 支援対象	法人格を有し、下記分野のいずれかに該当する事業 ^{*1} を行っている団体； 1. 少子高齢社会対策 2. まちづくり・地域活性化 3. 共生社会づくり 4. 次世代教育 5. 環境保全 6. 伝統・文化継承 7. 途上国支援 8. その他、持続可能な社会の構築に資する事業 ※1 主に中間支援に取り組んでいる団体は対象となりません。
● 支援内容	人的支援（プロボノ活動） 当社従業員の有志で組成されたプロボノチームが、本業で培ったスキルを活かして約半年間の協働を行います。 資金支援 支援賞 総額150万円（支援先1団体あたり50万円、最大3団体） 共感賞 総額100万円（プレゼンテーション選考会参加団体に分配）
● 支援期間	約6ヶ月間
● 選考方法	書類選考を実施した後、プレゼンテーション選考会を行います。 支援先団体及び賞金額は、役職員の投票（支援票 ^{*2} 、共感票 ^{*3} ）によって決定します。 ※2 支援票とは、プロボノ活動を希望する役職員が、支援したいと思う団体に投票するものです。 5票以上の支援票が集まった団体（最大3団体）を支援先団体として決定し、賞金を授与するとともに、投票者によるプロボノチームを組成して人的支援を行います。 ※3 共感票とは、当社のすべての役職員による投票です。書類選考を通過し、プレゼンテーション選考会に参加した全団体を対象に投票を行い、各団体の得票数に応じて支援金（共感賞）を分配します。
● 選考基準	1. 事業の革新性、将来性、実現可能性 2. 応募団体の熱意、起業家精神 3. 当社従業員有志の共感

・本プログラムは「特定非営利活動法人ソーシャルベンチャー・パートナーズ東京（SVP東京）」をアドバイザーに迎え、運営しています。
・本プログラムは、ビジネス法務を専門とする弁護士によるプロボノネットワーク「BLP-Network」と連携しており、入賞後、法務に関するご相談のご紹介が可能です。

スケジュール

- 4月24日(月) 正午
応募〆切
- 6月1日(木)
プレゼンテーション選考会
- 6月中旬
プロボノ支援先団体決定
- 6月29日(木)
賞金授与式／キックオフ会
- <<プロボノ活動開始>>
約6か月間
- 12月14日(木)
成果報告会

2016年度プロボノ支援先団体からの声

一般社団法人サステナビリティ・エンパワーメント 辻 義和 副代表
特定非営利活動法人Chance For All 中山 勇魚 代表理事



私たちは小学生がより豊かな生活を送っていくために学童保育の運営を通じて放課後の居場所づくりを行っています。義務教育や保育園と比較して、放課後の時間の価値は社会にあまり認知されていません。今回のプロボノプログラムを通して学童保育の現場の現状や放課後の価値を伝えていけるような調査づくりを支援していただきました。プロフェッショナルによる的確なアドバイスにより半年間で効果的な調査を作成することが出来ました。

特定非営利活動法人スマイルスタイル 古市 邦人 事務局長



私たちは、誰もが希望を見出し働き続けられる社会をつくるために、民間の就職支援施設「ハローライフ」をはじめとするさまざまな実践を行っています。今回のプロボノ支援では、若者向けの就労支援プログラムの事業化へ向けた再設計を伴走していただきながら進めました。コンサルティングの中で多様な視点をいただき中長期的な事業計画を整えることができたこと、支援終了後も関係が維持されていることが大きな財産となっています。

特定非営利活動法人人と動物の共生センター 奥田 順之 代表理事



現在日本では年間8万頭の犬猫が殺処分されています。人と犬猫の問題に最も大きな影響力を持つのがペット産業です。私たちは、ペット産業の社会的責任を推進するための白書作りをご支援いただきました。シンクタンクとの協働ははじめてでしたが、豊富な知見からのご助言に留まらず、白書内容の構成に至るまでサポートいただきました。2017年度に発行し皆さまにご報告できることが待ち遠しいです。

プロボノメンバーの声

支援団体：特定非営利活動法人ふれ愛名古屋（2015年度）



長尾 尚訓
政策研究事業本部
研究開発部
主任研究員

支援先から想像以上に多くのことを学んだ半年間

私が担当した支援先「特定非営利活動法人ふれ愛名古屋」は、重症心身障がい児・者が施設ではなく、住み慣れた地域で安全・安心で幸せに一人暮らしができるよう福祉サービスを創り、「人材」を育てている団体です。またその運営ノウハウを全国に広げています。

プロボノとして関わるにあたって、最初は、「プロボノなんだから、社員として培ったスキルを提供しなければ」と構えて考えていました。価値ある支援をしなければ、と。でも実際にプロボノチームに参加してみると、「スキルを提供」する場面はもちろんありましたが、同時に支援先の団体から多くの気づきを得られました。

支援期間中、ふれ愛名古屋チームの活動として、重症心身障がい児のお母さま方にピアリングに行きました。自らの体験を語ってもらい、白書に掲載する記事の作成をサポートすることが目的です。このインタビューでは、大変な状況にある中でも、前向きに我が子と向き合うお母さま方の姿に触れて、自分自身の世界観が広がった気がしました。そのうえ、後日お母さま方から感謝のメールをいただきました。新しい発見を得て、御礼を言わなければならないのは、こちらの方なのに。とても印象的な出来事でした。

業務で得られた専門性を生かして、社会に対して還元ができる。同時に自ら動くことで、新しい世界も広がる。そんな社会貢献の形がここにはあります。

当プログラムの詳細はこちら！ ▶  MURC 社会貢献

過去の支援先やプロボノメンバーの声も掲載中！
http://www.murc.jp/corporate/sustainability/social_business



三菱UFJリサーチ&コンサルティング

問い合わせ先
三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
ソーシャルビジネス支援プログラム運営事務局
〒105-8501 東京都港区虎ノ門5-11-2
TEL:03-6733-1005 Email: sb-murc@murc.jp